



2017 年度 事業報告

自 2017 年 4 月 1 日
至 2018 年 3 月 31 日

1. 印刷文化・技術に関する資料の収集・保存および展示

1、ニッシャ印刷歴史館の一般公開

実施年月日	団体での主な見学者
2017 年 4 月 3 日	関係先団体 46 名
5 月 18 日	京都華頂大学教授・学生 17 名
5 月 20 日	ワークショップ開催時 8 名
5 月 25 日	朝日カルチャーセンター 16 名
6 月 6 日	朱雀第 3 学区女性会 19 名
6 月 13 日	はんなり歩こう会 9 名
7 月 27 日	京都中小企業同友会印刷部会 9 名
8 月 4 日	ゆめまちチャレンジ隊 80 名
8 月 8 日	NISSHA キッズデー 28 名
8 月 25 日	化学センサー研究会 50 名
8 月 26 日	ワークショップ開催時 12 名
9 月 5 日	京都市中学校親学び委員会中京支部 15 名
9 月 6 日	近畿産業考古学会 15 名
9 月 24 日	京都歴史散歩倶楽部 13 名
11 月 11 日	ワークショップ開催時 9 名
11 月 18・19 日	関西文化の日 54 名
11 月 21 日	加飾技術研究会 83 名
2018 年 2 月 16 日	関係先団体 10 名
2 月 16 日	中日文化センター 18 名
3 月 13 日	朱雀第 7 小学校 40 名
	小計 551 名
	その他、随時見学希望者公開 160 名
	合計 711 名

2、印刷文化・技術に関する書籍、道具、機械等の収集と一元的管理を引き続き実施した。

・2015年4月から財団主導で進めてきた、NISSHAが古くから携わり購入した数多くの書籍や印刷物のデータベース化が、3万3,664冊の入力をもって完了した。引き続き追加書籍の整理に努める。

・本館1階印刷歴史館第1展示室の運営管理と見学希望者への案内に努め
本年も各分野から多数の来館者があった。また、昨年春に開館した第2展示室（明治の産業遺産）・第3展示室（初期タイプライター展示や国宝・原色日本の美術ほか豪華本の自由閲覧）も大変好評であった。

2. 印刷文化・技術の振興を目的とした活動および助成・支援

1、講座の開催

(1) ワークショップ

① 第30回「はじめてのデザイン書道」

2017年5月20日(土)

参加者 一般応募者 30名

講師 日本デザイン書道作家協会理事長 久木田ヒロノブ氏

② 第31回「はじめての動く折り紙」

2017年8月26日(土)

参加者 一般応募者 33名

講師 三上秀美氏

③ 第32回「はじめての京菓子スケッチ」

2017年11月11日(土)

参加者 一般応募者 31名

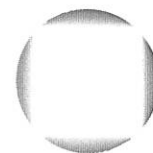
講師 水彩画家 おかだ美保氏

④ 第33回「はじめての筆づくり」

2018年3月3日(土)

参加者 一般応募者 32名

講師 奈良筆伝統工芸士 田中千代美氏



2、助成事業

① 第2回「筆文字で伝えたいことば大賞 2017」

- *主催 一般社団法人日本デザイン書道作家協会
- *応募期間 2017年6月10日(土)～9月20日(水)
- *表彰 2017年11月11日(土) 会場 新宿住友スカイルーム
- *内容 筆文字だからこそ伝わる言葉、伝えたい言葉を、自由な発想で表現することを目的に、学生の部(小・中・高校生)と一般の部(18歳以上)に分けそれぞれ大賞を含む入賞13作品が表彰された。当財団からは両部門に賞状および副賞を授与した。昨年の第1回は全国から1,205点の応募があったが、今回は昨年を大幅に上回る2,109点の作品が寄せられ、全国の学校や書道関係者から高い関心を集めるコンペティションになりつつある。

② 「第20回京都国際学生映画祭」

- *主催 公益財団法人大学コンソーシアム京都
- *期間 2017年11月25日(土)～12月1日(金)
- *会場 烏丸京都シネマ
- *内容 「映画のまち」「学生のまち」京都を中心とする関西圏の学生36名が主体となって企画・運営を行う日本最大の国際学生映画祭。世界各国の学生が制作した自主映画のコンペティションで、第20回となる今回は国内129作品、海外356作品の総数485作品の応募があり、入選した16作品が期間中烏丸京都シネマで上映され1,605人の来場があった。

③ 現代美術イベント 第6回「超京都 2017」

- *主催 超京都実行委員会
京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム
- *期間 2017年12月15日(金)～12月25日(月)
- *会場 重要文化財「旧三井家下鴨別邸」
- *内容 近代から現代の日本の豊かで自由な「光の現代美」を楽しむことをテーマに、重要文化財であり通常は非公開の旧三井下鴨別邸を会場に、昼間は自然光の中での現代が誇る美術家・工芸家の作品鑑賞、夜間は望楼を頂く木造3階建の建物内部からの幻想的ライトアップを楽しむことにより、日本の伝統色や天然の色彩を感じ取ってもらう催しもので約3千人の来場があった。

④ 第1回「ARTISTS' FAIR KYOTO」

- *主催 ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会
- *事務局 京都府文化スポーツ部文化芸術振興課
- *期間 2018年2月24日(土)～25日(日) 23日(金)特別内覧会
- *会場 京都文化博物館別館(重要文化財指定)
- *内容 文化庁からの要請を受け、地方のアート市場の創出と若きアーティストの成長を目的にしたアートイベント。現代美術家椿昇氏をディレクターに、世界の第一線で活躍中のアーティスト12名が選んだ、20代から30代前半の若手アーティスト36名の作品を中心に、アドバイザーボードメンバーの応援出品を含め276点が出品・販売された。会期中は3,092名の来館があり、若手作家にとっては世界に羽ばたく大変貴重な機会となった。次回開催も決定している。

⑤ NPO 法人史料データ保存ネットワーク

- *京都を中心に活動する特定非営利活動法人で、社会に埋もれ捨てられていく無数の「古文書」や「古美術品」を調査・解読し、次世代に残すために保存、書籍化に努めている。

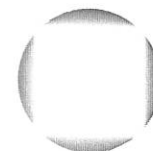
3. その他情報発信事業

1、財団ホームページの運用・管理

設立主旨、目的、財務内容および事業活動などの財団情報を公開。今年1月末に全面リニューアルを行い、英文表記も併せて公開した。

期 間	アクセス数
2009 年度	1,825 件
2010 年度	1,976 件
2011 年度	1,845 件
2012 年度	1,761 件
2013 年度	1,858 件
2014 年度	3,715 件
2015 年度	4,123 件
2016 年度	3,369 件
2017 年度	2,857 件

(3月末現在)



2、Web マガジン「AMeeT－Art Meets Technology」の運用・管理

財団公益事業の一環として、「アート・文化財とテクノロジーを結ぶサイト」をコンセプトに、コラム・イベント案内・デジタルアーカイブなどを隔月で更新、リリース。

期 間	アクセス数
2009 年度	5,750 件
2010 年度	28,731 件
2011 年度	35,685 件
2012 年度	40,797 件
2013 年度	41,894 件
2014 年度	44,091 件
2015 年度	38,661 件
2016 年度	45,101 件
2017 年度	41,198 件

(3 月末現在)

3、その他トピックス

2019 年 9 月 1 日から 7 日まで京都国際会館において、日本初の「国際博物館会議」(ICOM)が開催される。世界約 140 の国、地域から様々な分野のミュージアム専門家約 3,500 人が一堂に会する 3 年に 1 度の世界大会で、当財団が所属している京都市内博物館施設連絡協議会(京博連)などと連携し、「ICOM 京都大会 2019」に向けての取り組みがスタート。開催期間中、印刷歴史館の開館や、啓蒙を目的とする AMeeT での情報提供、およびフリーペーパーでの告知を企画検討している。

正味財産増減計算書 予算対比

自 2017年4月1日 至 2018年3月31日

(円)

科 目	決 算	予 算	差 額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取配当金	12,224,297	8,000,000	4,224,297
事業収益			
体験活動参加費	188,500	100,000	88,500
受取寄附金			
受取寄附金	50,000,000	50,000,000	0
雑収益			
受取利息	563,991	550,000	13,991
雑収益	1,217,615	0	1,217,615
経常収益計	64,194,403	58,650,000	5,544,403
経常費用			
事業費			
収集・保存・展示	1,104,254	10,000,000	▲ 8,895,746
振興・助成・支援	2,305,967	3,000,000	▲ 694,033
その他情報発信事業費	5,592,568	5,000,000	592,568
給与手当	8,067,132	8,500,000	▲ 432,868
旅費交通費	135,480	300,000	▲ 164,520
通信費	45,376	50,000	▲ 4,624
減価償却費	88,093	0	88,093
賃借料	103,680	100,000	3,680
租税公課	0	10,000	▲ 10,000
事業費計	17,442,550	26,960,000	▲ 9,517,450
管理費			
会議費	384,486	500,000	▲ 115,514
事務用品費	309,786	300,000	9,786
諸会費	64,000	50,000	14,000
給与手当	2,016,782	2,100,000	▲ 83,218
旅費交通費	33,870	70,000	▲ 36,130
通信費	11,344	10,000	1,344
賃借料	25,920	30,000	▲ 4,080
雑費	581,260	600,000	▲ 18,740
管理費計	3,427,448	3,660,000	▲ 232,552
経常費用計	20,869,998	30,620,000	▲ 9,750,002
評価損益等調整前当期経常増減額	43,324,405	28,030,000	15,294,405
投資有価証券評価損	424,197	0	424,197
当期経常増減額	42,900,208	28,030,000	14,870,208
2. 経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	42,900,208	28,030,000	14,870,208
一般正味財産期首残高	155,754,063	156,921,199	▲ 1,167,136
一般正味財産期末残高	198,654,271	184,951,199	13,703,072
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益			
投資有価証券評価益	64,500,000	0	64,500,000
当期指定正味財産増減額	64,500,000	0	64,500,000
指定正味財産期首残高	1,119,270,403	822,270,403	297,000,000
指定正味財産期末残高	1,183,770,403	822,270,403	361,500,000
III 正味財産期末残高	1,382,424,674	1,007,221,602	375,203,072

正味財産増減計算書 前年対比

自 2017年4月1日 至 2018年3月31日

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取配当金	12,224,297	8,017,561	4,206,736
事業収益			
体験活動参加費	188,500	118,500	70,000
受取寄附金			
受取寄附金	50,000,000	50,000,000	0
雑収益			
受取利息	563,991	391,074	172,917
雑収益	1,217,615	0	1,217,615
経常収益計	64,194,403	58,527,135	5,667,268
経常費用			
事業費			
収集・保存・展示	1,104,254	1,162,146	▲ 57,892
振興・助成・支援	2,305,967	1,530,916	775,051
その他情報発信事業費	5,592,568	4,139,208	1,453,360
給与手当	8,067,132	8,146,306	▲ 79,174
旅費交通費	135,480	1,381,523	▲ 1,246,043
通信費	45,376	42,862	2,514
減価償却費	88,093	0	88,093
賃借料	103,680	103,680	0
保険料	0	11,640	▲ 11,640
租税公課	0	2,000	▲ 2,000
雑費	0	107,418	▲ 107,418
事業費計	17,442,550	16,627,699	814,851
管理費			
会議費	384,486	358,159	26,327
事務用品費	309,786	261,026	48,760
諸会費	64,000	146,000	▲ 82,000
給与手当	2,016,782	2,036,577	▲ 19,795
旅費交通費	33,870	23,078	10,792
通信費	11,344	10,715	629
修繕費	0	41,040	▲ 41,040
賃借料	25,920	25,920	0
雑費	581,260	580,690	570
管理費計	3,427,448	3,483,205	▲ 55,757
経常費用計	20,869,998	20,110,904	759,094
評価損益等調整前当期経常増減額	43,324,405	38,416,231	4,908,174
投資有価証券評価損	424,197	939,795	▲ 515,598
当期経常増減額	42,900,208	37,476,436	5,423,772
2. 経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	42,900,208	37,476,436	5,423,772
一般正味財産期首残高	155,754,063	118,277,627	37,476,436
一般正味財産期末残高	198,654,271	155,754,063	42,900,208
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益			
投資有価証券評価益	64,500,000	297,000,000	▲ 232,500,000
当期指定正味財産増減額	64,500,000	297,000,000	▲ 232,500,000
指定正味財産期首残高	1,119,270,403	822,270,403	297,000,000
指定正味財産期末残高	1,183,770,403	1,119,270,403	64,500,000
III 正味財産期末残高	1,382,424,674	1,275,024,466	107,400,208

貸借対照表

2018年3月31日 現在

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	134,310,510	115,084,538	19,225,972
みずほ普通預金	14,310,510	15,084,538	▲ 774,028
みずほ定期預金	120,000,000	100,000,000	20,000,000
流動資産合計	134,310,510	115,084,538	19,225,972
2. 固 定 資 産			
基本財産			
投資有価証券	1,130,388,660	1,065,888,660	64,500,000
メモリアル品	53,381,743	53,381,743	0
美術品	21,780,000	0	21,780,000
基本財産合計	1,205,550,403	1,119,270,403	86,280,000
その他固定資産			
備品	4,046,633	0	4,046,633
投資有価証券	38,636,008	39,060,205	▲ 424,197
美術品	0	1,728,000	▲ 1,728,000
その他固定資産合計	42,682,641	40,788,205	1,894,436
固定資産合計	1,248,233,044	1,160,058,608	88,174,436
資産合計	1,382,543,554	1,275,143,146	107,400,408
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
預り金	118,880	118,680	200
流動負債合計	118,880	118,680	200
負債合計	118,880	118,680	200
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	1,130,388,660	1,065,888,660	64,500,000
受贈メモリアル品	53,381,743	53,381,743	0
指定正味財産合計	1,183,770,403	1,119,270,403	64,500,000
(うち基本財産への充当額)	(1,183,770,403)	(1,119,270,403)	(64,500,000)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	198,654,271	155,754,063	42,900,208
	(21,780,000)	(0)	(21,780,000)
正味財産合計	1,382,424,674	1,275,024,466	107,400,208
負債及び正味財産合計	1,382,543,554	1,275,143,146	107,400,408

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券は、購入時の取得価額によっている。
- ・満期保有目的の債券並びに子会社及び関連会社株式以外の有価証券
時価のあるもの……期末日の市場価格に基づく時価法によっている。
時価のないもの……移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

備品について法人税法の規定による定率法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

税込経理によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,065,888,660	64,500,000	0	1,130,388,660
メモリアル品	53,381,743	0	0	53,381,743
美術品	0	21,780,000	0	21,780,000
合 計	1,119,270,403	86,280,000	0	1,205,550,403

- ・投資有価証券の当期増加額64,500,000円は、NISSHA株式30万株を期末日(3/30)の東証1部終値(1株2,853円)で評価したときの評価益である。
- ・同株式30万株のうち15万株を、株券等貸借取引契約に基づきSMBC日興証券(株)に貸出を行っている。

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。(円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
投資有価証券	1,130,388,660	1,130,388,660	0	0
メモリアル品	53,381,743	53,381,743	0	0
美術品	21,780,000	0	21,780,000	0
合 計	1,205,550,403	1,183,770,403	21,780,000	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
メモリアル品	53,381,743	0	53,381,743
美術品	21,780,000	0	21,780,000
備品	4,134,726	88,093	4,046,633
ソフトウェア	3,150,000	3,150,000	0
合 計	82,446,469	3,238,093	79,208,376

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
社債			
みずほフィナンシャル グループ無担保社債	20,000,000	20,094,000	94,000
合 計	20,000,000	20,094,000	94,000

附属明細書

1. 基本財産の明細

計算書類に対する注記2のとおり

2. 引当金の明細

該当なし

財産目録

2018年3月31日 現在

(円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産			
現金預金			
普通預金	みずほ／京都中央	事業資金	14,310,510
定期預金	〃	〃	120,000,000
流動資産合計			134,310,510
固定資産			
基本財産			
投資有価証券	NISSHA株式 30万株		855,900,000
	日晶産業株式 3,980株		274,488,660
			(1,130,388,660)
メモリアル品	骨董印刷機他 30点		53,381,743
美術品	ダンテ著作集		14,000,000
	欽定英訳聖書		3,000,000
	ペイル原書「英文典初歩」		700,000
	ウル第3王朝時代の粘土板		650,000
	杉田玄白他訳「解体新書」2冊		2,850,000
	「京名所案内道法略記」版木3枚		580,000
			(21,780,000)
その他固定資産			
投資有価証券	ダイワ日本国債ファンド		18,636,008
	みずほフィナンシャルグループ無担保社債		20,000,000
			(38,636,008)
備品	Pham Luan 絵画「二重橋」		1,728,000
	「二重橋」額代		128,622
	ミニー吉野 絵画「繁栄と衰退」		1,728,000
	「繁栄と衰退」額代		152,411
	展示ケース ガラス製		309,600
			(4,046,633)
固定資産合計			1,248,233,044
資産合計			1,382,543,554
流動負債			
預り金	源泉所得税		118,880
負債合計			118,880
正味財産			1,382,424,674

以上、当財団の財産目録に相違ありません。

2018年 5月 8日

一般財団法人 ニッサ印刷文化振興財団

理事長 鈴木 順也